



鉢物コチョウランでエチレン阻害剤の効果を実証

－1-MCPの効果は12日間継続します－

開発の背景・ニーズ

コチョウランは花の日持ちが良く、贈答品として人気がある鉢物です。しかし、輸送時の振動などで花や花茎が傷むとそこからエチレンが発生し、花の萎れや落花を引き起こして商品価値が失われてしまいます。そこで、エチレン阻害剤である1-MCPをコチョウランに処理した場合の効果や、効果の持続期間について検討しました。

コチョウランの流通の例

生産者

市場

卸売業者

小売店

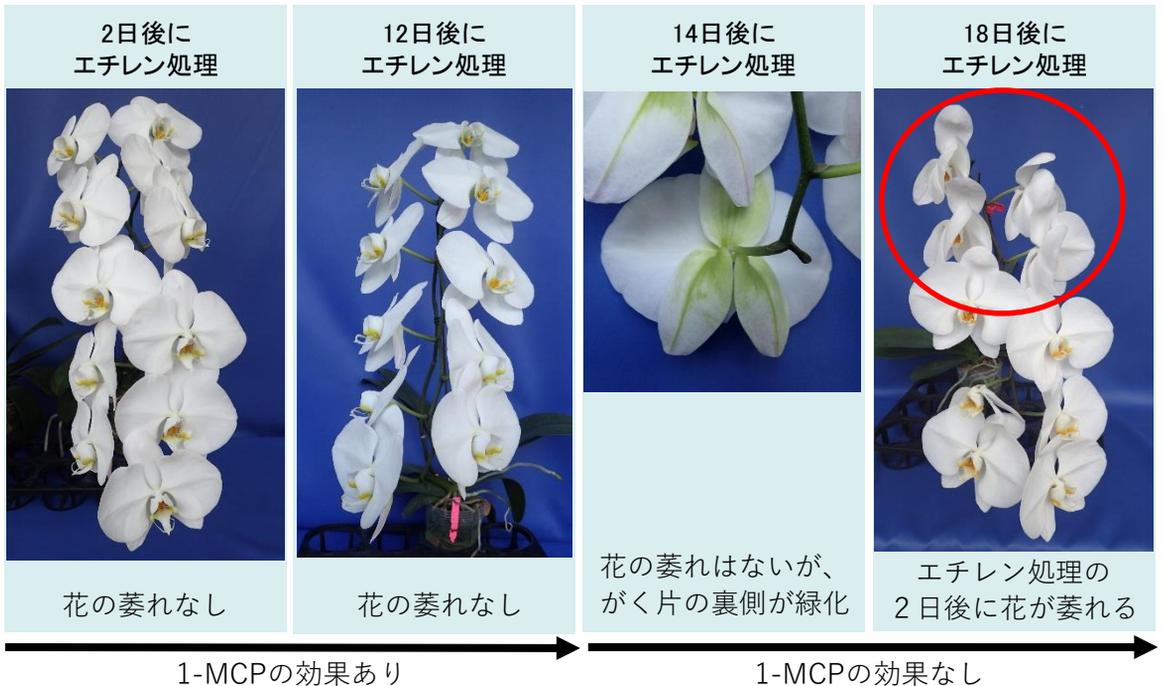
消費者

コチョウランが出荷されてから店頭まで（数日～1週間程度）
流通途中でエチレンに触れると花の萎れ、落花が発生 ➡ クレームなどの問題につながる

成果の内容

コチョウランに1-MCP（濃度300bbp）を4時間くん煙処理し、数日後に1-MCPの効果を確認するため、エチレンを処理しました（濃度1ppm、24時間）。その結果、1-MCP処理から14日後以降にエチレンを処理した株で花の萎れや落花、がく片の緑化が発生しました。1-MCP処理の効果は12日間程度持続することを明らかにしました。

エチレンに対する反応



愛知県農業への貢献

今後農薬登録されれば、本成果の活用により、鉢物コチョウランが出荷から販売店や消費者に届けられるまでの間にエチレンに触れても商品価値が損なわれず、品質保持が期待できます。